

農業委員会の活動を
見える化♪

ミエ〜ル通信

★☆☆第4号☆☆
【2021年10月】

発行：福島市農業委員会事務局

おしえて
んだんだぱんだ!



んだんだぱんだ
「ミエ〜ル通信」オリジナルキャラクター

今回のテーマ「農地の集積・集約化ってなあに？」

農業委員会では「集」・「新」・「遊」の3本柱を軸とした活動を行っていることは覚えてくれたかな？今号からは「集」つまり「担い手への農地の集積・集約化」について紹介するよ☆

農地の「集積」「集約化」ってなあに!?

農地を集めて、まとめること

スーパーマーケットを思い浮かべてほしいんだ☆お肉や野菜、日用品などの商品が集まっていて、1つのお店でまとめて買い物ができるよね!

たくさんのお店に行くよりも買い物がラクだよ☆これは農地も同じこと! 農地が隣り合っていたら農地でのお仕事もムダなく、スムーズにできるんだ♪そして、近い場所で農地をさらに増やしていくと…田畑から多くの農作物がとれるんだ!!

次回「農地バンクってなあに?」に続く☆

PICK UP

福島市農業委員会の委員は、一人ひとりが、日々の活動を「活動記録簿」に記録しています。このコーナーでは、委員の普段の活動を「活動記録簿」から抜粋して紹介します☆

集 担い手への農地集積・集約化

- 田んぼを貸したいと相談を受け、借り手を探した。貸し手と借り手双方で現地確認をした。
- 飼料用イネと中間管理機構の説明をした。

地域の相談役として活動してるね☆

- 地域の有害鳥獣害対策会議に出席し、地区の現状を確認した。

新 新規参入の促進

- 新規就農者がきゅうり作付けにあたり、地元の水利組合へ案内した。
- 新規参入希望の方への聞き取りをした。
- 新規就農についてと、農地の利用方法についても相談があったためアドバイスをした。
- 新規就農者と農地所有者の調整を行った。
- 貸したい希望があった農地について、地区の農振会会長と話し合い、周知することになった。
- 電話にて新規就農するときの農地について相談を受けた。

4月から7月の 活動記録

遊 遊休農地の発生防止・解消

- 霜被害を確認しながらパトロールをした。
- 地区の農家さんから休耕中の農地を貸したいと相談があり、借り手をマッチングをして中間管理機構へ連絡した。
- 休耕中の水田の利用に関する相談を受けた。
- 畑の隣の農地が荒れていると苦情を受け、地主さんと現場対応をし解決した。

農地を守るために日々活動してるんだ!

その他

- 宅地を農地に戻したいと相談を受けた。
- JAの指導会に参加し、地区農家の状況について聞き取りを行った。

遊休農地など農地のことでお困りのときは、福島市農業委員会へご相談ください。